ベイエリア 浪華八百八橋マップ

01 常吉大橋（つねよしおおはし）

舞洲と常吉地区を連絡する橋で、支間長250mは非対称の斜張橋としては国内最大級です。平成11年完成。

02 此花大橋（このはなおおはし）

世界的にも例のない、斜めハンガーを用いたモノケーブル自碇式吊橋で、平成2年に完成しました。

03 梅町大橋（うめまちおおはし）

USJの西隣に位置し、梅町水路をひと跨ぎにするラーメン橋。平成元年に完成しました。

渡船場

市内8箇所にある渡船は無料で利用する事ができ、市民の足として多くの方に愛されています。

12 かもめ大橋（おおはし）

マルチケーブルの美しい斜張橋で、その形は翼を広げたカモメに似ています。昭和50年に完成しました。

11 南港大橋（なんこうおおはし）

昭和44年完成の東橋と昭和49年完成の西橋の2橋で一対の橋で、南港の発展を支えてきました。

04 夢舞大橋（ゆめまいおおはし）

海に浮いた橋で、大型船が航行する際には移動させることができる世界初の旋回式浮体橋。平成13年完成。

05 天保山大橋（てんぽうざんおおはし）

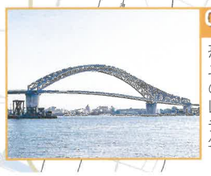
水面より約50mの高さに架かる鋼斜張橋です。海遊館からその全景を一望できます。昭和63年完成。

06 港大橋（みなとおおはし）

大阪港のシンボルとなるゲルバートラス橋。支間長510mはトラス橋では世界第3位。昭和49年完成。

07 なみはや大橋（おおはし）

桁橋としては国内最大級で支間長は250m。空中高くに大きな曲線を画く鋼床版箱桁橋です。平成7年完成。



08 千歳橋（ちとせばし）

恐竜を思わせるユニークなデザインの2径間連続ブレースドリブアーチ橋です。平成15年に完成しました。

09 千本松大橋（せんぼんまつおおはし）

両岸ともに2層式のループ橋となり、「めがね橋」の愛称で呼ばれています。昭和48年に完成しました。

10 新木津川大橋（しんきづがわおおはし）

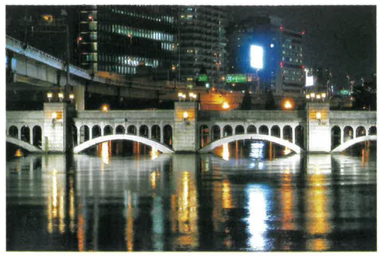
ベイエリアの物流を支える橋で、アーチの支間長305mは国内最大級です。平成6年に完成しました。

ライトアップ　夜はいっそう美しく

水の回廊、ベイエリア、淀川の各地域の代表的な橋は、日没から22時までライトアップされています。夜の都市景観を演出することで、市民だけでなく大阪を訪れる人々にも、昼とは違う美しい大阪の夜をご覧いただけます。

水晶橋（水の回廊）

ライトアップされた優雅な橋の姿は、中之島で最も印象的かもしれません。



此花大橋（ベイエリア）

大阪港の夜景に彩りを添えています。橋上からの夜景も一見の価値ありです。

豊里大橋（淀川）

夕日に浮かぶ橋の姿は、淀川を代表する景観のひとつになっています。

好きな橋ランキング　アンケート結果

大阪市民が好きな橋について、538名に市民アンケートを実施しました（複数回答）。

その結果、第1位に輝いたのは、市民にライオン橋の愛称で親しまれ、古い歴史をもつ『難波橋』（169人）でした。

1位	難波橋	169人
2位	戎橋	93人
3位	水晶橋	91人
4位	豊里大橋	59人
5位	淀屋橋	56人

■難波橋

駅名になった橋　橋はなくても名を残す

大阪の橋はまちと密接な関係にあり、今日でも、「淀屋橋」「心斎橋」「鶴橋」などのように、駅名や、地名に橋の名前が多く使われています。

■昭和初期の四ツ橋

地下鉄四ツ橋駅　西区

昔、ここには川が流れ4つの橋が交差していたことから四ツ橋の名前が付きました。

※緑字：現存していない橋

地下鉄			JR	私鉄		
朝潮橋	京　橋	心斎橋	芦原橋	阿倍野橋	大江橋	京　橋
鶴　橋	天神橋筋6丁目	天満橋	京　橋	汐見橋	千鳥橋	鶴　橋
長堀橋	西大橋	日本橋	鶴　橋	天神橋筋6丁目	天満橋	なにわ橋
肥後橋	深江橋	緑　橋		日本橋	淀屋橋	渡辺橋
四ツ橋	淀屋橋					

淀川・浪華八百八橋マップ

01 豊里大橋（とよさとおおはし）

万国博覧会の関連事業として整備された近代的なデザインの斜張橋で、支間長216mは当時の日本最長。

02 菅原城北大橋（すがはらしろきたおおはし）

大阪市ではじめての有料橋。天然記念物イタセンパラなど環境へ配慮した設計が施されました。

橋を見ながらサイクリング

淀川沿いを気持ちよく自転車で

淀川左岸から大川沿いには、中之島公園から万博記念公園まで、約20kmのサイクリングロード「北大阪周遊自転車道」が整備されています。淀川右岸から神崎川沿いには、「なにわ自転車道」の整備もされており、橋を見ながらのサイクリングが楽しめます。

06 新十三大橋（しんじゅうそうおおはし）

周辺道路の交通緩和を目的に建設された十三バイパスが、淀川を跨ぐ橋。昭和41年に完成しました。

09 新伝法大橋（しんでんぽうおおはし）

伝法大橋とともに、阪神間の大動脈である国道43号を支えています。昭和44年完成しました。